

# みんなの文芸

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して企画財政課までお寄せください。1人1句、1首に限ります。

3日必着

## 短歌 (投稿順)

元旦は我が家恒例お雑煮を夫に声かけます仏壇に  
 コンサート若き奏者の優美な手心にしみるハープの調べ  
 期限切れのカイロほっけに忍ばして皆で見に行く宝登の蠟梅  
 元朝に健康願い護摩を焚き二十三夜寺祭り賑う  
 白寿まで生きてと年賀にてくれし実弟卒寿共々歩む  
 越年の無事に成せしを感謝しつ今年も安泰ひたすら祈る  
 強張りし身を湯舟にゆったりと伸ばして嗚呼と思はずも発する  
 新春の短冊展を片付けて早も二月の暦となりぬ  
 疑問符を背中に背負い生きて行く僕は毒づき生きて行くんだ  
 衝撃！長月の夜にポランティア向ひし道に車当てらる  
 あの日より戸締めとなりし庭に来て暫し寄り添ふ月の命日  
 氷桌下マイナス七度気合い入れゴミ収集所への鍵を開けに

下田野 新井 節子  
 皆野 萩原 初恵  
 皆野 大澤 貴夫  
 皆野 村田ハツ代  
 皆野 根岸 詩子  
 下日野沢 浅見 豊子  
 三沢 新井 叶子  
 三沢 新井 民子  
 皆野 林田 凜太  
 皆野 打木 昭廣  
 皆野 引間 万亀  
 国神 藤原マキ子

## 俳句 榎本順江 選 投稿数 17句

摘みかねてそつと覆いし露の臺  
 (俳)春の訪れをそつと教えてくれる露の臺、名のみの春にまだ小さく摘むに早すぎます。もう少しこのままでと枯草で覆うやさしい作者。大きくなったら誰の手に摘まれるのか、作者にと露の臺のつぶやきが聞こえます。二句目、御主人の転勤に伴いかつて過ぎた桜の名所河津の地。早咲きの桜並木は圧巻の景色です。今年も桜の便りが届き懐かしい思いに浸りました。任地での思い出は変わりゆく季節や人々の顔、風習、さまざまあるでしょう。句材も溢れ、花便りが良き句になりました。三句目、部屋に墨の香が満ち心引き締まる初稽古。心の痛むニュースの多い昨今、万人の願う平和、文字にして言葉にして訴えたいですね。見事な書が部屋に飾られたことでしょう。

花便りかつて任地の河津より  
 三沢 新井 民子  
 墨の香や平和を祈りつ初稽古  
 皆野 悠利  
 寒雀好みの枝があるらしや  
 皆野 引間 千鶴  
 啓蟄や荒れし田畑も膨らめる  
 国神 藤原マキ子  
 臘梅や活けし部屋より香の洩れ来  
 皆野 村田ハツ代  
 裸木となるも堂々大銀杏  
 国神 久米雄志郎

国神 鈴木 正文  
 行き詰まる政権解散春の闇  
 皆野 根岸 詩子  
 雲なびき騒ぐ木々や春一番  
 皆野 花垣好比古  
 寒牡丹若き友らの輪に入りぬ  
 皆野 櫻井 早苗  
 氷点下の厨を思い起き難し  
 三沢 新井 叶子  
 読む程に会ひたさ募る賀状かな  
 下日野沢 浅見 豊子  
 大木も身も揺らさるる空つ風  
 下日野沢 浅見 和雄

## まんげつ食堂

## こども食堂

期 日 3月12日(木)、26日(木)  
 時 間 午後4時～8時  
 場 所 リルの家(大字皆野905番地)  
 費 用 子ども・学生：無料 大人：1食200円  
 予約受付 開催日の3日前まで  
 ※締切後のご利用はご相談ください。  
 申込み ☎070-5544-7049  
 ✉mangetushokudo@gmail.com 申込みフォーム



## 「広報みんなの」有料広告募集

毎月4,000部発行され、各世帯に配付されます。ぜひ会社やお店などの宣伝にご活用ください。

### 掲載枠・広告料

掲載適当とするページの最下段  
 1号(縦50mm×90mm) 5,000円  
 2号(縦50mm×180mm) 10,000円

申込み 企画財政課(⑩番窓口) ☎26-7334